

暖かな春の日差しの中で



屋上でお花見昼食会。『いただきます』の前に記念撮影！
 「桜がきれい〜」「外で食べると気持ちいいね」「おいしいよ」
 桜だけではなく、利用者様の笑顔も満開でした。

緑愛会だより

第95号
 〒190-0161
 東京都あきる野市入野811
 社会福祉法人 緑愛会
 指定介護老人福祉施設
 あたご苑
 あたご苑 ケアハウス

ご挨拶



施設長
 増田 俊一

常日頃、特別養護老人ホームあたご苑及びあたご苑ケアハウスにご利用者の皆様やご家族、そして地域の皆様には温かいご支援とご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、当苑では、これからの介護の質の向上には若い人の創造力が必要との考えから、3年前前から「気づきの能力」を養うためのメモリーカード(日々の仕事に気づいたことを記入する)の提出を義務付けております。職員一人ひとりが当事者、つまり自分ごとにして、まわりの職員を巻き込みながら学ぶといった環境づくりを進めており、その担い手となる若い職員が増えてきましたので、本年度から副施設長ポストを新設し苑内からの若手を登用するなどその組織体制づくりにも力を入れております。

いまだ猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の収束の目途はたっておりませんが、ご利用者の皆様はもちろんのことご家族の皆様からあたご苑に入苑してよかったと喜んでもらえる、そんな施設をめざし職員一同努力してまいります。本年度も皆様のご指導・ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

就任のご挨拶



副施設長
 奥秋 有記

私が福祉業界に入ったきっかけは、あたご苑ケアハウスの施設長をしておりました父親からの「少し手伝ってみないか」との誘いからです。

今思えば嬉しい誘いだったので、当時は何とも言えない気持ちになったことを覚えております。介護員として入職し、慣れない業務に悪戦苦闘してなんとか介護福祉士の資格を取得しました。その後は管理課に異動となり財務室の勉強をいたしました。気が付けば12年の歳月が経ち、この4月1日から社会福祉法人緑愛会特別養護老人ホームあたご苑とあたご苑ケアハウスの副施設長に就任いたしました。私の父親はすでに他界しておりますが、もし就任の話を知ったらとても喜んでくれたと思います。父親に感謝です。

今後は施設長のもとで学びながら、職員一丸となり、利用者様に楽しんでいただき、素敵な笑顔がみられる、そんな施設づくりに努めてまいります。皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。